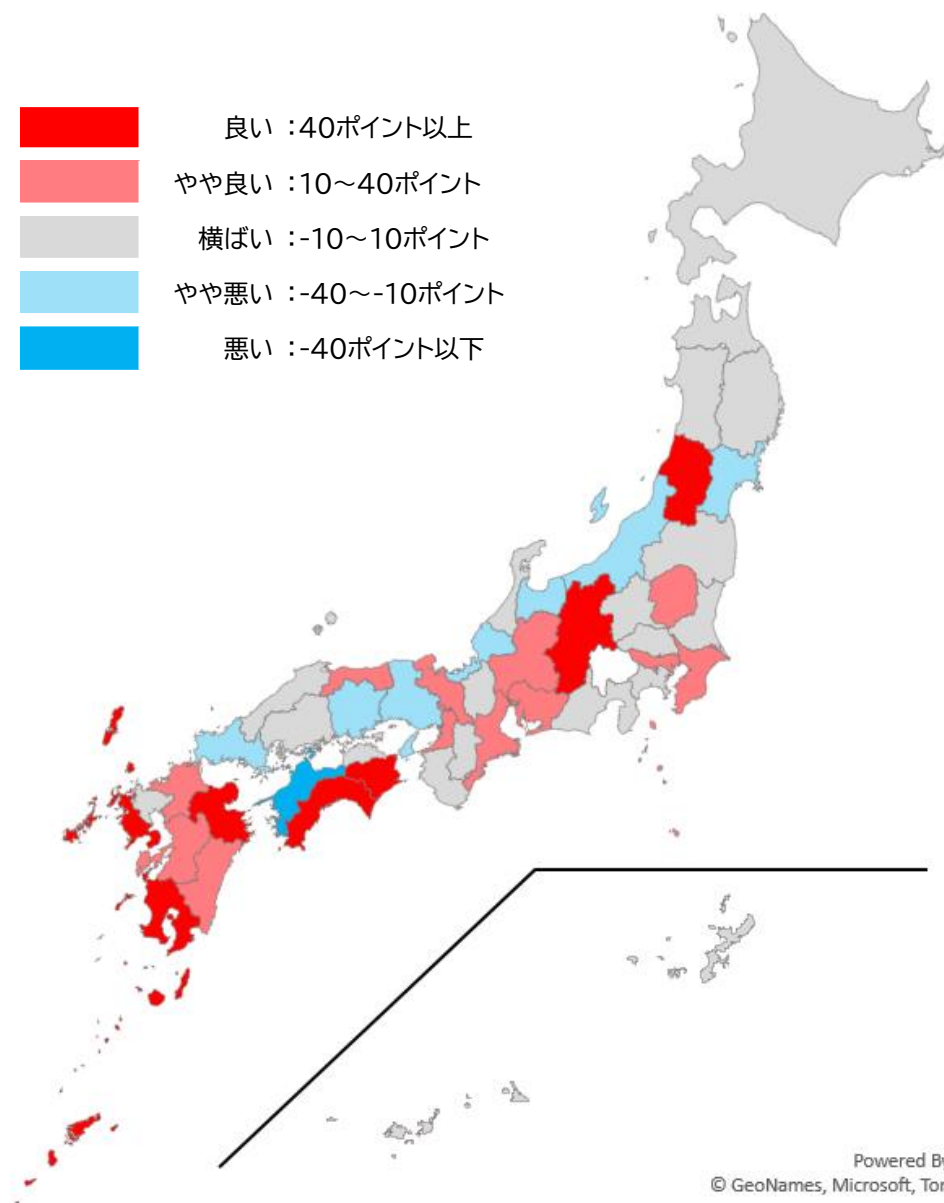
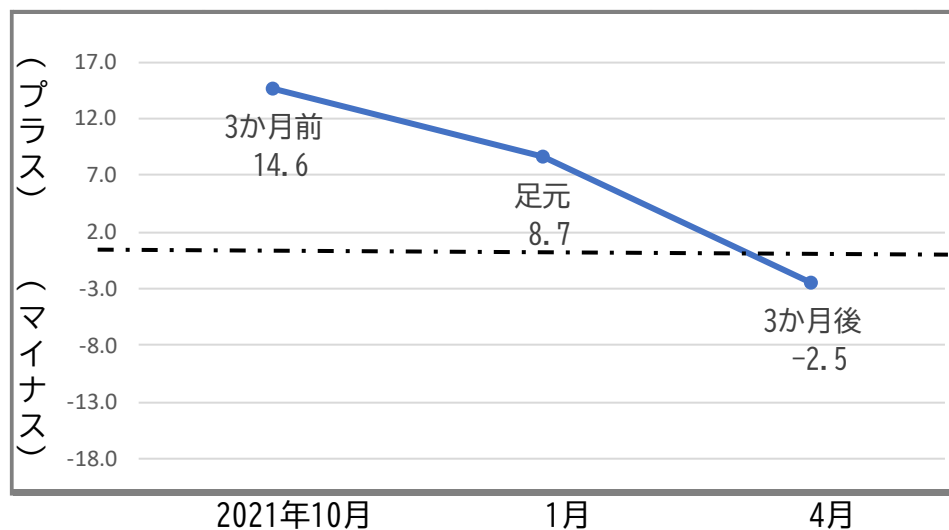


全国の足元業況は、3か月前のプラス14.6から**プラス8.7ポイント**となった。
都道府県別にみると、まだら模様の状況となり、15の都府県で3か月前より改善。19の都府県で「良い」「やや良い」という結果になった。

全国の業況推移

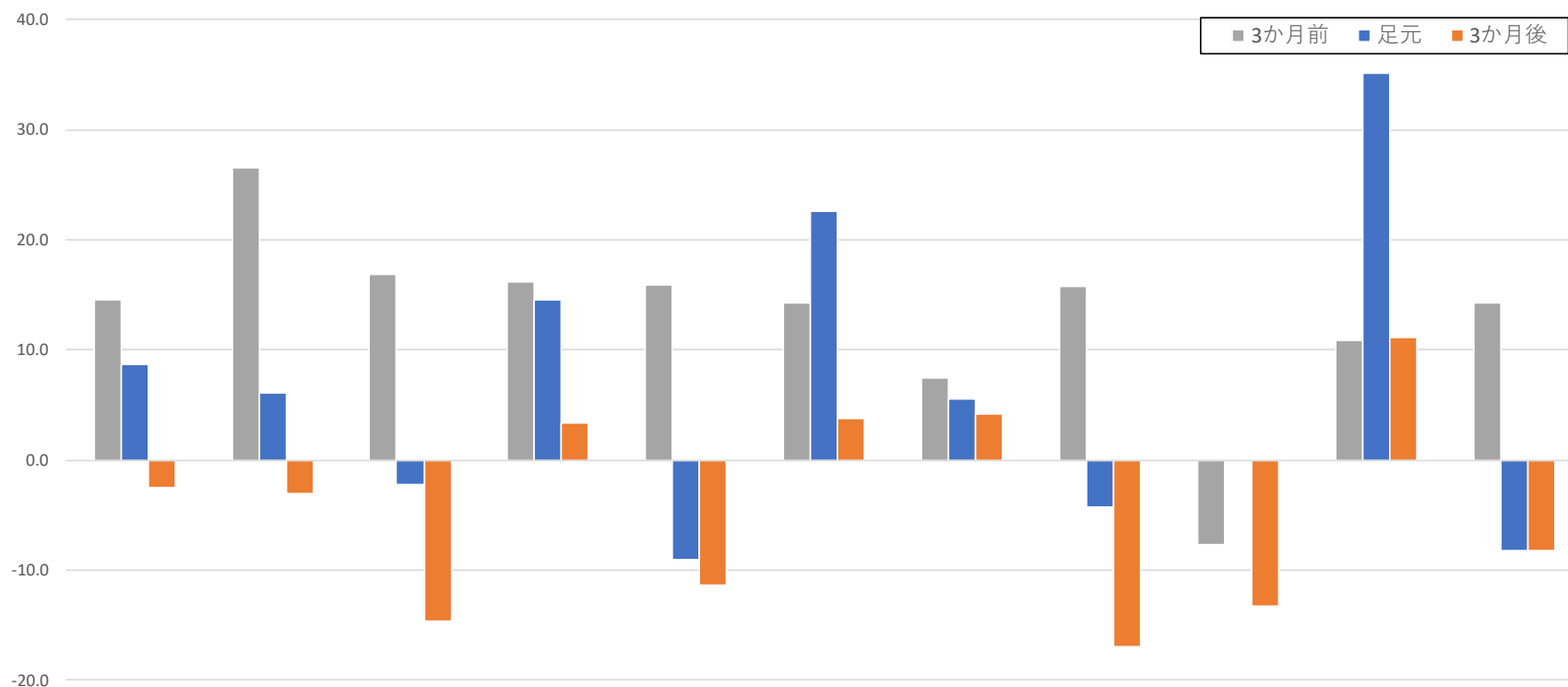


Powered By Bing
© GeoNames, Microsoft, TomTom

地域ブロック別の業況推移

<地域ブロック詳細>

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
 関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県
 北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県
 中部：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
 近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
 中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
 四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
 九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県



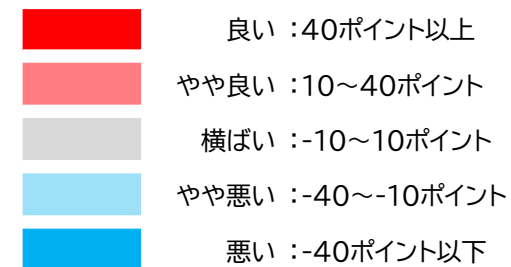
	全国	北海道	東北	関東	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄
3か月前(前回調査)	14.6	26.5	16.9	16.2	15.9	14.3	7.5	15.8	-7.7	10.9	14.3
足元	8.7	6.1	-2.2	14.5	-9.1	22.6	5.6	-4.3	0	35.2	-8.3
3か月後	-2.5	-3	-14.6	3.4	-11.4	3.8	4.2	-17	-13.3	11.1	-8.3

建設機械レンタル業地域業況調査報告〈1月〉都道府県別



レンタルの繁忙期である前回調査に比べ足元は悪化したが、19の府県で「良い」「やや良い」となり、特に中部、九州エリアは業況良いようだ。先行きの4月は、例年の工事量減少に伴うレンタル機材の売上げ減を想定しての結果となった。

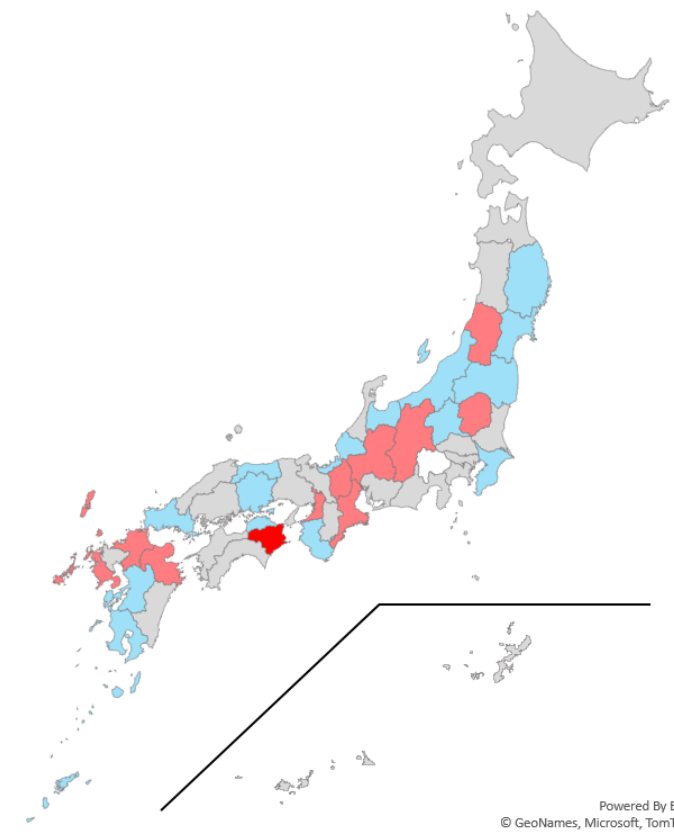
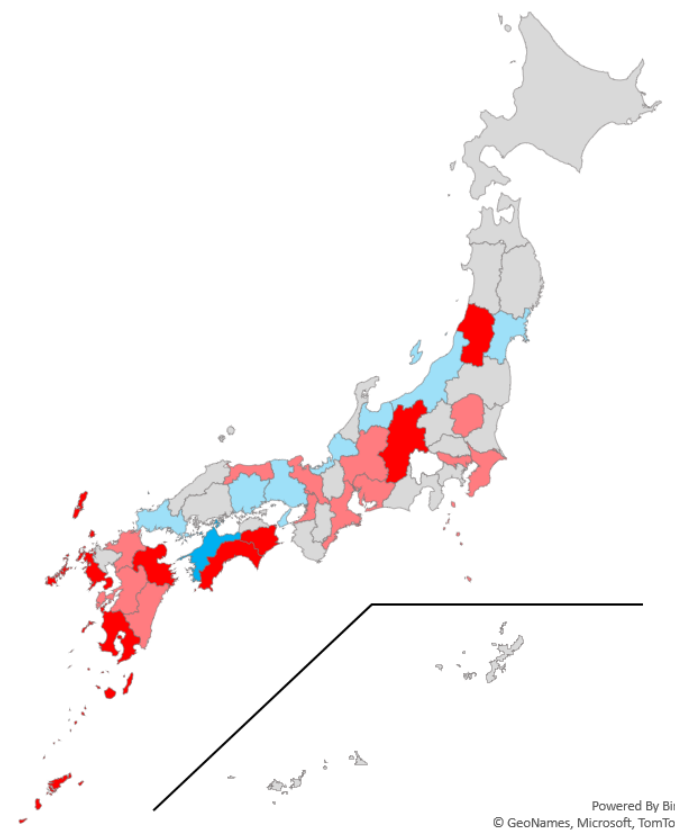
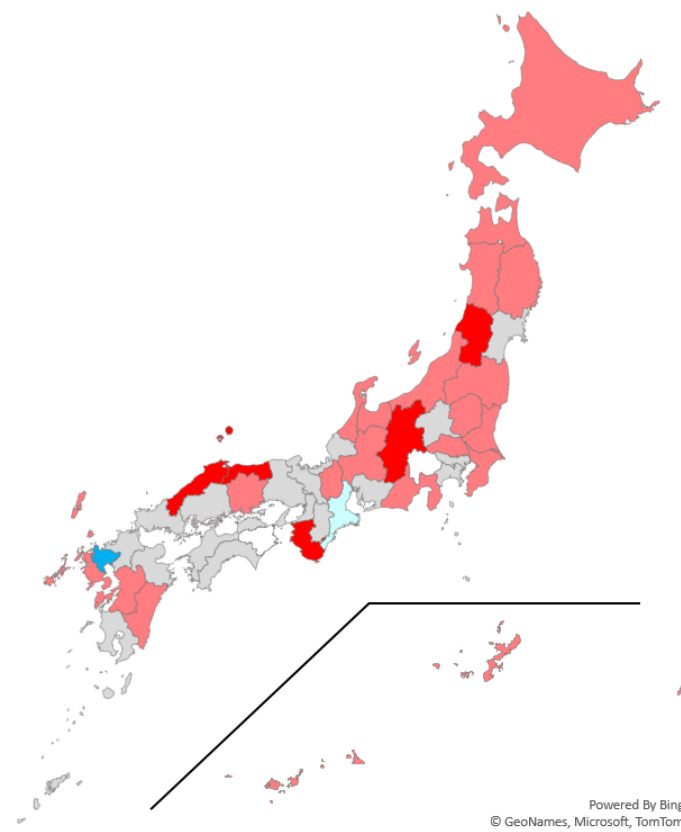
都道府県別業況マップ



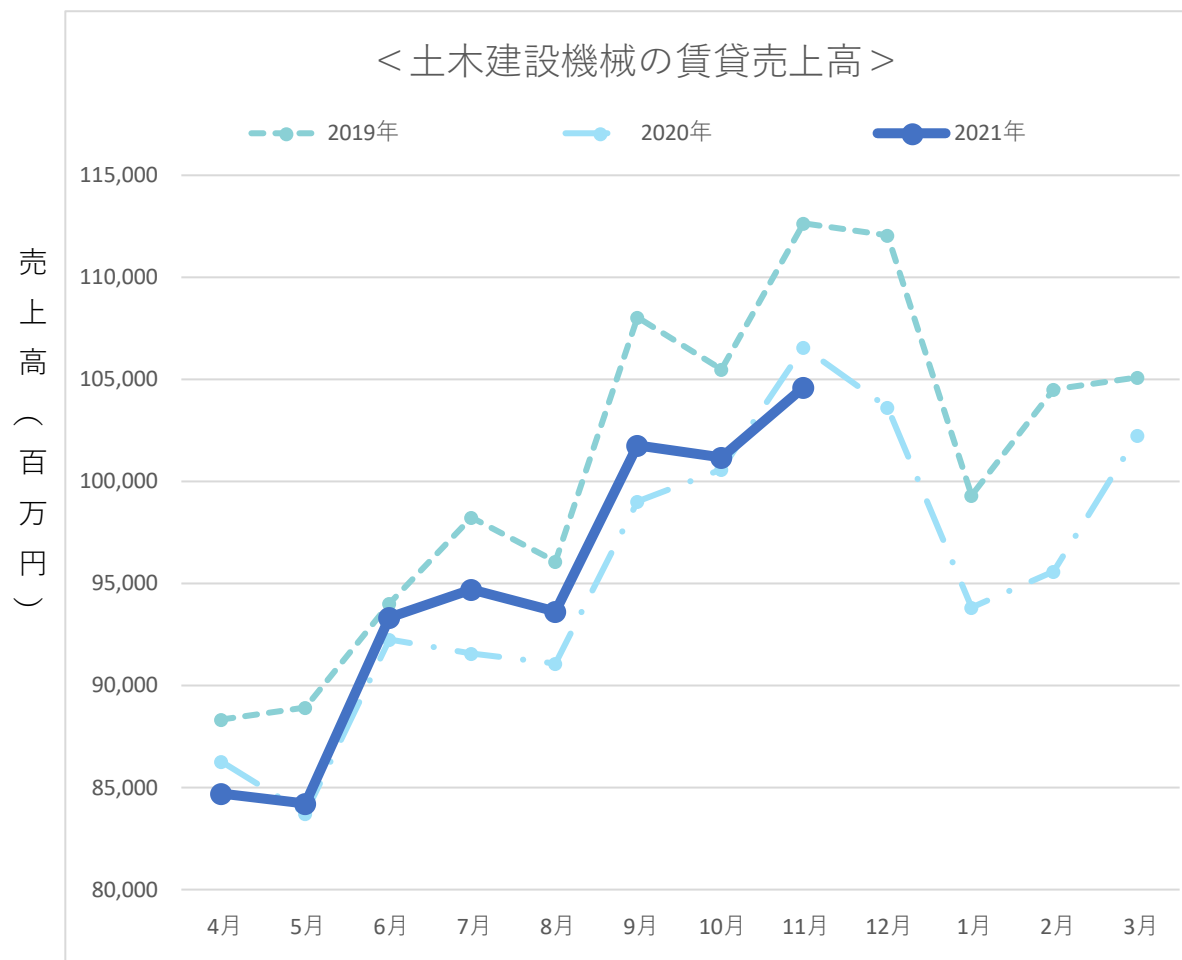
3か月前（前回調査）

最近（足元）

先行き（3か月先）

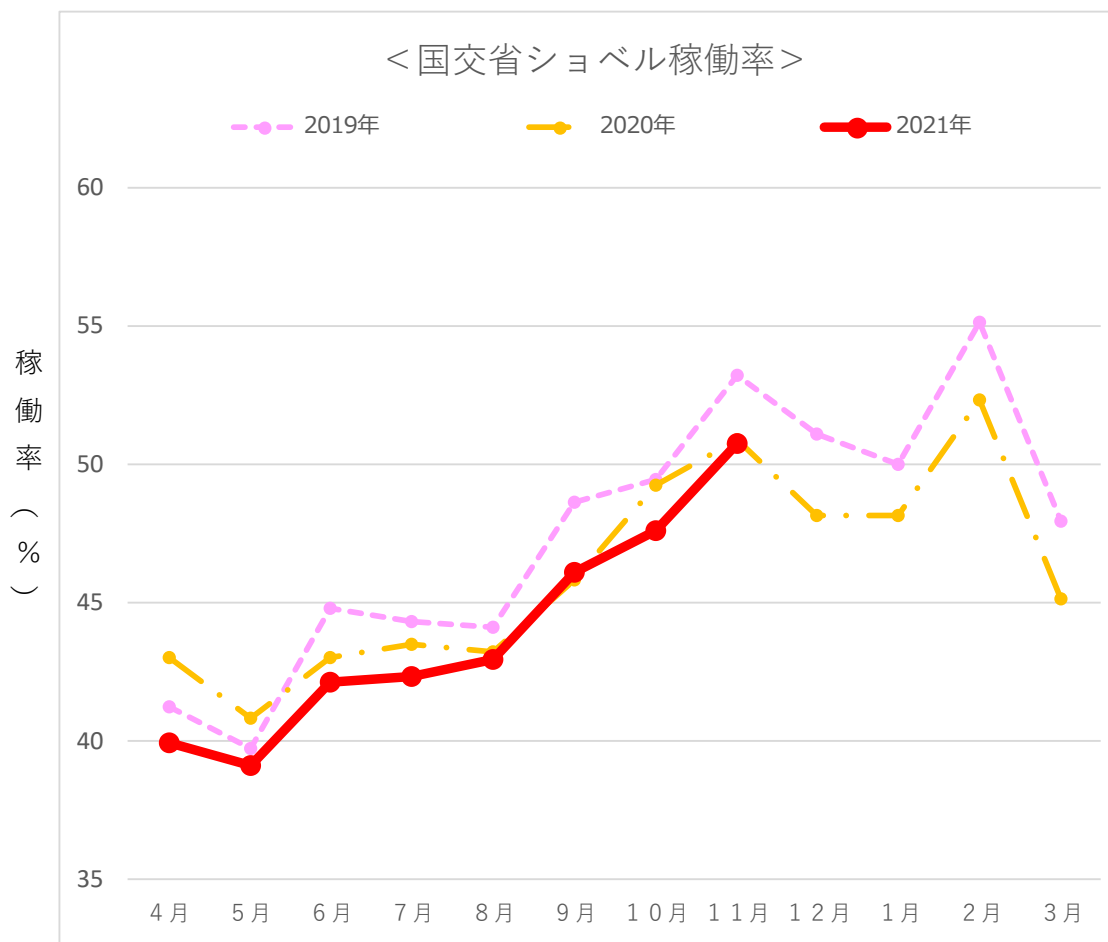


9月期までは昨年度と同水準以上で推移していたものの、繁忙期の売上は昨年度比マイナスとなった。業況調査での足元1月の景況感は悪化傾向にあることから、前年並みの弱含みの売上げを予測せざるを得ない。



< 出典：経産省「特定サービス産業動態統計調査」 >

レンタル部門の主要な機材である油圧ショベルの稼働率は、繁忙期の11月に50%を超える高い稼働率となり、昨年実績までに回復した。経産省の売上に比べショベルの稼働率が高い水準で推移しているため売上げとなる足元は昨年並みに堅調に推移するのではと思われる。



<出典：国交省「建設機械器具リース業の動態調査」>

会員各社の事業所を対象に、「足元」「3か月後」の業況を
1. 良い、2. さほど良くない、3. 悪い の3つの選択肢で聴取。回答結果よりDIを算出した。

$$DI = (\text{「1.良い」の回答社数構成百分比}(\%)) - (\text{「3.悪い」の回答社数構成百分比}(\%))$$

実施時期	2022年1月19日～1月26日
調査配信数	1030 事業所
有効回答数	564 事業所
回答率	54.8 %

建設機械レンタル業地域業況調査報告〈1月〉都道府県別回答状況



都道府県	有効アドレス数	回答数	回答率
北海道	62	33	53.2%
青森県	15	8	53.3%
岩手県	17	10	58.8%
宮城県	50	23	46.0%
秋田県	16	13	81.3%
山形県	11	4	36.4%
福島県	44	31	70.5%
茨城県	18	12	66.7%
栃木県	23	12	52.2%
群馬県	16	9	56.3%
埼玉県	34	14	41.2%
千葉県	28	12	42.9%

都道府県	有効アドレス数	回答数	回答率
東京都	94	37	39.4%
神奈川県	62	32	51.6%
新潟県	24	15	62.5%
富山県	16	9	56.3%
石川県	19	13	68.4%
福井県	11	7	63.6%
山梨県	0	0	-
長野県	22	17	77.3%
岐阜県	5	3	60.0%
静岡県	26	12	46.2%
愛知県	56	32	57.1%
三重県	10	6	60.0%

都道府県	有効アドレス数	回答数	回答率
滋賀県	20	9	45.0%
京都府	7	4	57.1%
大阪府	60	31	51.7%
兵庫県	29	15	51.7%
奈良県	1	1	100.0%
和歌山県	21	12	57.1%
鳥取県	8	3	37.5%
島根県	4	3	75.0%
岡山県	13	9	69.2%
広島県	33	23	69.7%
山口県	12	9	75.0%
徳島県	1	1	100.0%

都道府県	有効アドレス数	回答数	回答率
香川県	13	11	84.6%
愛媛県	4	2	50.0%
高知県	1	1	100.0%
福岡県	43	25	58.1%
佐賀県	3	1	33.3%
長崎県	10	6	60.0%
熊本県	14	9	64.3%
大分県	9	5	55.6%
宮崎県	8	4	50.0%
鹿児島県	11	4	36.4%
沖縄県	26	12	46.2%

※有効アドレス数：調査案内メールの送信対象となった全アドレス数から送信不可（メールアドレス無効）の数を除いたアドレス数

レンタル業界は、おおむね繁忙期と閑散期がはっきりしている業界と言えます。
この業況調査は、そうした季節要因を除いた調査時点での業況水準を示したDIを調査しています。

前と比べて「上昇」「下降」という**以前との変化方向**で判断するのではなく、売上が「良い」「悪い」という**調査時点の水準**で業況を判断しています。
回答の際の参考にしてください。

次回調査は2022年4月に実施予定です。
会員会社様の肌で感じる地域業況感調査にぜひ回答のご協力をお願いします。

同年5月には回答結果を都道府県単位でご報告いたします。

